

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター  
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 元年 8月 東北分  
 (東北6県)」について

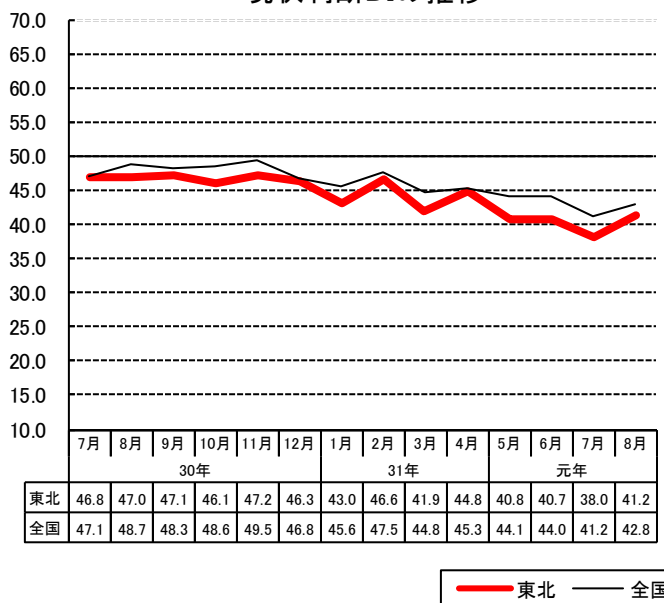
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：佐竹 勤 株式会社ユアテック 取締役社長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 元年 8月 東北分（東北6県）」について、とりまとめたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「41. 2」と4ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+3.2ポイントとやや上回った。

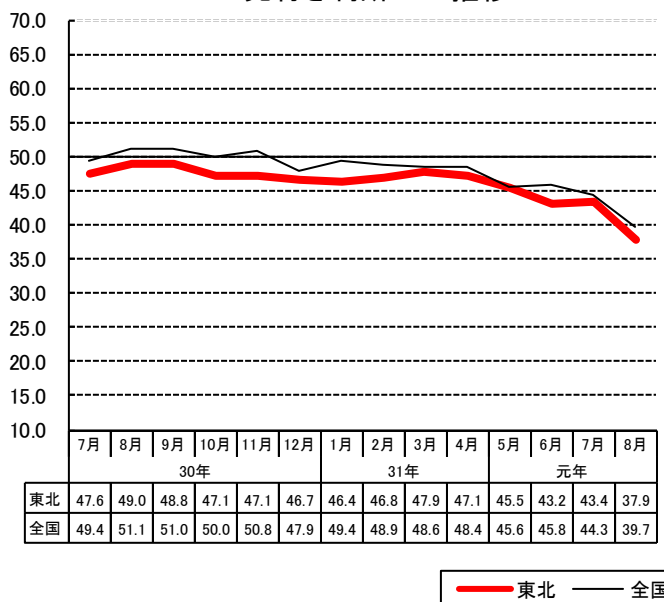
現状判断DIの推移



(2) 先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断DIは「37. 9」と2ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲5.5ポイントと大幅に下回った。

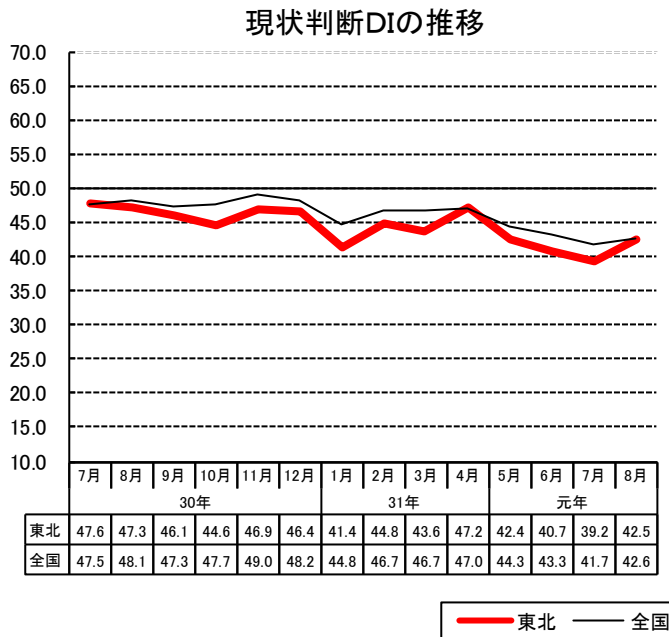
先行き判断DIの推移



## 2. 原数値

### (1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「42.5」と4ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+3.3ポイントとやや上回った。



○家計動向関連…住宅販売会社、住関連専門店、高級レストラン等の業種でDIが前月を下回ったが、家電量販店、コンビニ、百貨店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「43.0」(+4.9)と4ヶ月ぶりに前月を上回った。

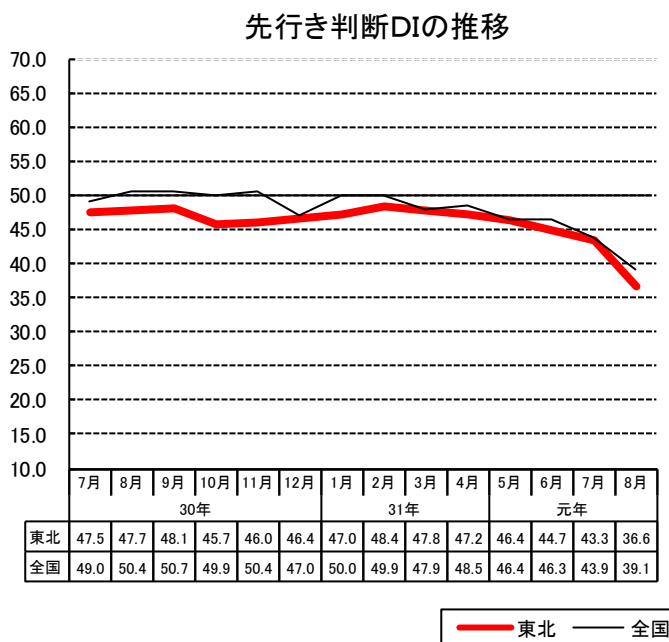
○企業動向関連…窯業・土石製品製造業、輸送業等の業種でDIが前月を上回ったが、食料品製造業、金融業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「39.6」(▲1.1)と2ヶ月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「44.4」(+1.0)と、3ヶ月ぶりに前月を上回った。

### (2) 先行き判断 (2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「36.6」と6ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲6.7ポイントと大幅に下回った。



○家計動向関連…ショッピングセンター、設計事務所等の業種でDIが前月を上回ったが、衣料品専門店、家電量販店、旅行代理店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「35.2」(▲7.9)と5ヶ月連続で前月を下回った。

○企業動向関連…建設業、司法書士等の業種でDIが前月を上回ったが、輸送業、窯業・土石製品製造業、食料品製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「37.5」(▲6.1)と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

○雇用関連…DIは「44.4」(▲0.3)と3ヶ月連続で前月を下回った。

## <参 考>

### ■D Iの推移（原数値）

#### （1）現状判断（方向性）D I

	30年						31年				元年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北現状	47.6	47.3	46.1	44.6	46.9	46.4	41.4	44.8	43.6	47.2	42.4	40.7	39.2	42.5
家計動向関連	46.7	47.7	44.7	42.3	44.7	45.2	39.3	44.1	42.1	47.6	42.1	40.0	38.1	43.0
企業動向関連	45.1	43.2	48.0	46.5	50.0	46.6	42.9	42.1	43.1	46.5	41.4	41.9	40.7	39.6
雇用関連(参考)	57.9	52.6	51.3	55.0	55.0	53.8	51.3	53.8	53.8	45.6	46.3	43.4	43.4	44.4

#### （2）先行き判断D I

	30年						31年				元年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北先行き	47.5	47.7	48.1	45.7	46.0	46.4	47.0	48.4	47.8	47.2	46.4	44.7	43.3	36.6
家計動向関連	46.3	46.6	47.0	45.0	44.9	45.6	47.3	48.5	48.7	48.4	46.0	44.9	43.1	35.2
企業動向関連	48.6	49.3	50.7	45.8	48.6	45.3	43.6	44.1	45.8	43.8	47.1	42.6	43.6	37.5
雇用関連(参考)	52.6	51.3	50.0	50.0	47.5	53.8	51.3	56.3	46.3	45.6	47.5	47.4	44.7	44.4

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 令和 元年 8月 25 日～31 日

回答者数 179/189 名、回答率94. 7%（全国 1,849/2,050 名、90. 2%）

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「やや良くなっている」

（コンビニ）…暑い日が続いて飲料水、アイスがよく売れている。また、お祭り期間中も天候に恵まれて人も良い状態である。

（家電量販店）…消費税の引上げ前という声が客から聞こえている。商品の説明をしても、購入するポイントとして「今がいいよね」というケースが増えている。暑さを過ぎた時期のエアコンなども、今のうちに購入してしまおうという客の動きがある。また、冷蔵庫、洗濯機、テレビなどの高額商材についても同様の声が上がっている。

（リフォーム業）…リフォームでは消費税の引上げを意識した工事が増えている。また、住宅設備は熱中症対策のためのエアコン取付工事が増えている。

##### ○「変わらない」

（百貨店）…化粧品など一部の 카테고리 については消費税の引上げ前のまとめ買いがみられるものの、衣料品系は苦戦している。平均すると前年を上回っているが、カテゴリーによって差がみられており、必需品を優先的に購入する傾向が顕著である。

（スーパー）…8月は厳しい暑さが続き、涼味品、アイス、飲料、アウトドア商材などの動きは良かったが、暑すぎて昼間の来客数が低迷している。1品単価は前年並みだったものの、来客数が前年割れしているため、全体的な消費低迷の傾向に変化はみられていない。

（衣料品専門店）…7月末からの気温上昇により、ようやく夏物商材の需要が増えている。カジュアルを中心に好調に推移しているものの、この動きは短期間であるとみている。

（乗用車販売店）…新規客の来客数、成約件数共に大きな変化はなく、消費税の引上げ前の駆け込み需要による受注もない。

（関連専門店）…今月はある程度の来客数があったが、売上には結び付いていない。客のニーズの多様化により、製品が少ない小規模店舗には厳しい状況となっている。

（靴専門店）…お盆の連休中は来客数が増加し、販売につながっている。また、猛暑であることもショッピングセンターへの集客にプラスに働いている。

（ショッピングセンター）…お盆帰省客の来客数が増加したため、8月としては非常に良い数字となっている。

（都市型ホテル）…お盆の連休のため個人利用の宿泊やレストランは堅調だったものの、その分企業法人の利用が少ない状況である。

（旅行代理店）…消費税の引上げを前に消費意欲が高まっているかといえばそうではなく、今までと全く変わらない状況である。前回の消費税の引上げのときとは違った動きとなっている。

（通信会社）…安価なものを最優先で買い求める傾向が見受けられる。

（美容室）…消費税の引上げ前の駆け込み需要が増えているが、景気が悪いからこそその駆け込み需要なのではないか。前年同月と比較して1.2倍の売上、販売量となっているが、景気が良いというわけではない。

（窯業・土石製品製造業）…地域間格差はあるものの、5年連続で前年度実績を下回っており、厳しい状況が続いている。

（輸送業）…取引先により受注量の増減は様々である。全体的には3か月前と比べても余り変化はみられていない。

（金融業）…投資信託、外貨保険の販売が鈍く、投資家は様子見の状況となっている。

(コピーサービス業) …消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待しているが、現在は表立って商談件数が増えている実感がない。9月になれば増えてくるかもしれないが確信がもてない状況である。

(人材派遣会社) …目の前の採用苦戦の諦観に加えて、東京オリンピック後の景気低迷を想定して増員採用を手控える企業が散見されるなど、企業の採用活動に鈍化の兆しがみられている。

(職業安定所) …求人数、求職者数共にそれほどの動きはない。今後の景気状況や、米中貿易摩擦による中国経済の動き、韓国、欧州などの動きに非常に神経質になっている企業が多いのではないかと。ただし、現状では景気状況に変化はない。

## ○「やや悪くなっている」

(商店街) …消費税の引上げを前に値上がり相次いでおり、景気の悪さを実感している。

(一般レストラン) …消費税の引上げを気にしている人が多いが、キャッシュレスによる最大5%のポイント還元を知らず、また、教えても面倒に思うのか恩恵を受けている人が少ない。そのため、消費税の引上げばかりが気になり、今のうちに消費の切り詰めに慣れようとしているのか、買い控えをしている様子がかえりうる。

(タクシー運転手) …8月のお盆休み期間中において、稼働している同業他社のタクシーが非常に少なくみえた。そのため、乗客を得たタクシーは売上を確保できたが、その他はそうでもない様子である。

(観光名所) …お盆期間の曜日の並びが良く天候もまずまずだったが、期待したほど来客数は伸びていない。周辺の宿泊施設の利用率も前年より悪化しており、遠方からの来客数が落ち込んでいる。

(住宅販売会社) …大きな宅地の売買予約が数件キャンセルとなっており、不動産の在庫が増えている。

(食料品製造業) …地元の祭りは新聞発表による人出は良かったが、土産物の売行きはかなり厳しい数字となっている。お盆商戦も余りぱっとしないままである。

(電気機械器具製造業) …米中貿易摩擦の影響により、受注量、販売量共に減少している。

(広告業協会) …消費税の引上げ前の駆け込み需要による広告出稿に期待をしたが、余り活発ではなく、期待外れの感が強い。

(専門学校) …消費税の引上げが10月に迫り閉塞感が漂っている。景気が落ち込まないようにいろいろな情報が公開されているが、果たしてそれが浸透しているのか否か微妙である。

## ○「悪くなっている」

(医薬品販売店) …お盆までは来客数が良い状態で推移していたが、その後は客足が途絶えている。市議会選挙の影響もあるのか、街中まで人がこなくなっており、月後半は前年比が10%減少している。

(高級レストラン) …7月から非常に良くない日が続いており、9月の予約も良くない状況である。

## (2) 先行き判断理由

### ○「やや良くなる」

(ショッピングセンター) …消費税の引上げ前の駆け込み需要により、高額商材は多少の売上増加が見込める。ただし、様々な不安要因があるため、今後の景気動向を注視していきたい。

(建設業) …夏季休暇前後で出件した公共工事の受注者が確定する時期と重なるため、現時点より景気は上向くとみている。

(司法書士) …消費税の引上げ後に住宅を購入した方が得策だとする買い控えがあるため、10月以降は多少良くなるとみている。

(新聞社〔求人広告〕) …短期的ではあるが、ラグビーワールドカップの開催で景気が上向くとみている。

### ○「変わらない」

(百貨店) …消費税の引上げ前の駆け込み需要が実感できていない。そのため、増税後のマイナスの影響は前回ほどではないとみているものの、衣料品については買い控えにつながっていくことを懸念している。

- (コンビニ) …来客数は伸びているものの、10月の消費税の引上げで買上点数の減少が見込まれている。
- (乗用車販売店) …急激な変化はないとみている。ただし、消費税の引上げ後を危ぶむ法人客の声が急激に大きくなってきているため、予断を許さない状況である。
- (人材派遣会社) …人事や中小企業の経営者の話では、企業の商売環境が良くなる見通しがないため、従業員の数を積極的に増やそうとする企業は余り見受けられない。人手不足の企業は引き続き求人があるとみているが、新しい職種や企業からの求人が生まれるとは考えにくい。

### ○「やや悪くなる」

- (酒類販売店) …消費税の引上げの影響がどのように出るのか不透明である。しかも今回の増税は余りに複雑であり、取扱商品にはいまだに曖昧な商品もある。同業者の中には余りにも複雑すぎるため、これを機に店仕舞いを考えているという声も少なくない。消費者にとっても、消費税の引上げ前に駆け込み需要が出るほど消費マインドが上がるのか疑問である。
- (スーパー) …消費税の引上げ前の駆け込み需要は食料品には大きく影響しない。かえって節約志向が高まり、購入する商品の絞り込みが強まるのではないかとみている。
- (家電量販店) …今のところ、消費者は消費税の引上げ前に商品を購入する傾向が強く、増税後の景気対策は余り周知されていないように見受けられる。そのため、増税後は買物をするような消費マインドにならずに、景気は若干冷え込むとみている。
- (旅行代理店) …個人旅行の需要は余り良くない傾向にあり、特に消費税の引上げ後である10～11月は買い控えもみられている。今後の動きに注意が必要である。
- (食料品製造業) …現在の販売環境からみて、10月の消費税の引上げにより、更に厳しい数字になるとみている。
- (出版・印刷・同関連産業) …9月までは消費税の引上げ前の駆け込み需要で売上が増える見込みであるが、10月以降はその反動で落ち込むとみている。
- (窯業・土石製品製造業) …公共工事や民間工事の減少、百貨店の閉店や商店街の疲弊、また、賃金が上がらない状態での消費税の引上げにより、今後の景気は悪化するものとみている。
- (輸送業) …上半期の売上は前年をやや下回っているが、米中貿易摩擦などの影響により輸出関連取引先の輸出が延期になったことや、製造業の取引先の受注量が減少する計画のため、下半期は更に下回る見込みである。
- (広告業協会) …消費税の引上げ後の様子見で広告出稿を手控える企業が多くなる見込みである。今までの前年比は微減で推移していたが、10月以降の落ち込みがどれほどになるか、見当がつかない。
- (職業安定所) …カーナビ関連企業などにおいて、今後の受注が少なくなる見込みのため、大きな人員整理があるのではないかとみている。現在の世界経済の流れからは、製造業が若干悪化すると見込まれる。

### ○「悪くなる」

- (衣料品専門店) …消費税の引上げ後の展望が余りにも暗い。増税の影響で消費が落ち込むため、店は商品価格を下げると予測される。だから今は購入することを控えるというムードの中での9～10月は、非常に苦しいものになるとみている。少額の商品でも買い控えをされてしまうと、当店のような商品を扱う店舗は、大きな打撃を受けると危惧している。
- (一般レストラン) …消費税の引上げの影響が大きい。仕入価格が高くなるが、小さい店では価格に100%転嫁することはできないため、かなり景気が悪くなるとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上